

(様式例)

令和6年度 数学科 授業改善推進プラン

大田区立大森第四中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

<第2学年>

- ・図形領域で目標値を上回った。特に平面図形領域では大きく上回った。視覚的にも理解しやすく基礎が定着したと考えられる。

<第3学年>

- ・データの活用領域で目標値を大きく上回った。日常生活を題材とした授業を1年次から行ったことで、基礎が定着したと考えられる。また、反復練習を重点的に行った結果、基礎の問題において目標値を大きく上回った。

(2) 課題

<第2学年>

- ・思考・判断・表現の観点問題、特にデータの活用、1次方程式の問題の正答率が目標値を下回っている。

<第3学年>

- ・思考・判断・表現の観点問題の中で、図形、証明の問題の正答率が目標値を下回っている。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和6年度結果	令和5年度結果	令和4年度結果
第1学年	全国の標準値をやや上回っている。		
第2学年	全国の目標値をやや上回っており、昨年度よりも上がっている。	全国の目標値をやや上回っている。 (第1学年時)	
第3学年	全国の目標値をやや上回っており、昨年度よりも上がっている。	全国の目標値をやや上回っている。昨年度と変化なし。 (第2学年時)	全国の目標値をやや上回っている。 (第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を上回っている。	目標値を上回っている。	目標値をやや下回っている。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値より2ポイント上回っている。	目標値よりも2ポイント下回っている。	目標値よりも1.6ポイント下回っている。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値より3.5ポイント上回っている。	目標値よりも2ポイント上回っている。	目標値よりも1.6ポイント上回っている。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
四則計算を中心に行い、計算力の向上を図る。習熟度別に合わせてプリントやICT機器を活用して理解を深める工夫に取り組む。	計算過程を説明したり、成り立つ理由を考え説明させる活動を多く取り入れる。	日常生活を題材とした問題を扱い、問題解決に取り組む。振り返りシートを活用し、日常生活の中で数学が活用できる場面について考えさせ、深い学びにつなげる。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
式の計算や方程式を解くなど、基礎基本の計算力の向上を図る。問題集の活用の仕方を再度定着させると同時にドリルパークなども活用して意欲的に問題に取り組ませる。	計算過程を第三者にもわかるように表現させる指導を徹底させる。証明問題でも根拠をもとにして結論まで導く指導を行う。	他教科や日常生活と数学を結び付けて問題解決するような問題を取り上げ、少しでもわかった、楽しいと思えるような授業を展開できるように題材を工夫し、主体的に学習する態度を養う。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を上回っているが、単元別に分析を行うと、連立方程式の分野で他の分野に比べて低い数値である。基礎的な計算力を身に付けるため、習熟度別のプリントや復習を適宜行う。	証明の分野で目標値を下回っている。自分の考えを順序だてて説明することが苦手な生徒が多い。授業で一問一答となるような発問ではなく、日頃から説明を促し、考える発問を行う。	データの活用など、日常生活と関わる分野で高いポイントが見られる。引き続き日常での数学を意識しながら、深い学びにつなげる。